

2011年7月15日

仙台市長
奥山恵美子 様

まち遺産ネット仙台
代表 西大立目祥子

荒巻配水所旧管理事務所保存についての要望書

謹啓

このたび、私ども「まち遺産ネット仙台」は、荒巻配水所旧管理事務所（仙台市青葉区国見3丁目）が取り壊される予定であることを聞き及びました。

ご案内のとおり、当建物は、青下水源地および中原浄水場の各管理事務所とともに、仙台市技師・菊地孝太郎によって設計された昭和8年竣工の近代化遺産です。

華やかな装飾を廃し単純な直線や円弧の組合せによって構成された造形は、簡潔かつ瀟洒で、小品ながら当時のデザイン風潮を反映した上質な建築作品です。また、上水道第一次拡張整備期の建築であり、仙台市における近代化の過程を伝える遺産という意味でも貴重なものです。改めて申すまでもなく、これらの価値が評価され、当建物は国の登録有形文化財に登録され、これまで大切に保存されてきたことと認識しております。

更に、荒巻配水所は、水道施設という市民の生活になくってはならない重要な施設であるだけでなく、特に近隣住民にとっては、春は桜の名所であり、お花見や散策の場としても長年親しまれてきた場所でもあります。

それ故、昨年来の樹木の伐採、旧管理事務所の曳屋による劇的な整備工事の実施を、私たちは、驚きをもって見守っていたところです。その曳屋工事のさなかに、不幸にしてこの度の震災に見舞われました。

震災直後、現場を訪れた私たちは、枕木の上に鎮座する当建物を目の当たりにし、驚愕せずにはいられませんでした。想像を絶する規模と長さの地震動に見舞われながら、あのような不安定な状態であったにもかかわらず、崩壊せずに持ちこたえたという事実は、奇跡的と言ってもよいのではないのでしょうか。これで、従来知られてきた歴史的価値に、厳しい状況下でこの度の震災に耐えた建物という、新たな価値が加わったとも言えるでしょう。

そんな中、当建物を取り壊すかもしれないという話を突如耳にし、私たちは、今、激しい衝撃を隠しきれません。また、「市民協働」をうたわれている市政運営の中で、市民の共有財産でもある登録文化財の建物について、もう少し早い段階での一般市民向けのご説明がなぜないのかという疑問も感じております。

ここに至るまで、関係者の方々は慎重な検討を重ねられ、その末に断腸の思いで決断されたこととはお察し致しますが、このような取り壊し・撤去という絶望的な判断は、どうかお取り下げいただきますようお願い致します。

確かに現状は、建物を支持する枕木が何本か外れ健全な状態とはいえないことは承知しております。しかし、本当に取り壊す以外に方法はないのでしょうか。現代の技術をもってすれば、保存・修復の手立ては必ずあるはずで、当会には、建築の専門家も所属しており、各種ネットワークも持ち合わせておりますので、保存・修復の技術に関しては、可能な限りご協力致します。

また、予算が足りないというのであれば、募金活動等のご協力も惜しみません。

保存・修理は、各人が協力し適切な手立てを尽くせば、必ず実現できるものと確信しております。当建物を生かす方向で再検討する場を与えていただきますよう、重ねてお願い致します。

ご承知の通り、当建物は、市民共有の大切な遺産です。取り壊してしまえば、二度と取り戻すことはできません。

新しく生まれ変わる「市民憩いの広場」の象徴的施設として、これからも末長く市民に愛される地域の拠り所として、荒巻配水所旧管理事務所の保存・活用事業を進めて下さいますよう、私たちは心より要望致します。敬具

連絡先

まち遺産ネット仙台 事務局

仙台市青葉区国見6-45-1

東北文化学園大学 大沼研究室内

電話022-233-3152

携帯080-1819-8527(西大立目)